

プロジェクトG

歯科技工所の挑戦

た。4月1日からは新社屋での営業を開始している。

新社屋は2階建て。延床

面積は1160・68㎡、敷地面積3492・56㎡で、1階が技工室、2階には63席のセミナールームがある。これまでは場所を借りて行っていた勉強会が自社

を駆使した高精度な歯科補綴物の製作・提供が求められている。

須となっている。しかし、その一方で歯科

働、社会的地位の低さなどである。この問題解決には

つ、製作時間短縮による労働時間の短縮を図っている。さらに、コーポレート

近年ではCAD/CAM

システムや3Dプリンター

が減少し、養成学校の閉校

ある。当社は、そのための

取得組みとして、より良い

法が開発され、最新の製法

や機材、材料といったこれ

不足が危惧されている。

その理由として挙げられ

『人の食と美と未来の健康へとつながるデンタルク

までとは違う技術習得も必

るのが、低賃金、長時間労働

という答えが必要と考え

た。

している。

「働きやすい環境で、歯

科医療レベルの向上を図り、地域医療に貢献する」。

当社は昭和55年に創業

し、2020年で40周年を

迎えた。記念事業として、

より良い労働環境づくりを

目指した新社屋を建設。そ

のためのミーティングに

は、現場の歯科技工士も参

加し、アイデアを出し合っ

食と美と健康を作る仕事

で行えるため、取引先の生方や弊社の技工士がセミナーに参加し、インプラントや補綴治療と一緒に学べるようになった。

少子高齢化や医療技術の

向上、新型コロナウイルス

の影響等により、安心・安全な医療サービスに対する

ニーズは一層高まっている。

患者のニーズに 대응す

べく、歯科技工士には技術



そのためにCAD/CAMや3Dプリンターなどの最新設備を導入し、製作物のクオリティを担保しつ

この言葉は、当社の社会的責任・貢献として、歯科医師を通して患者さんに間接的に届けられる補綴物やサービスを使って食事の楽しさ、思いっきり笑うなどのQOLの向上に寄与するというのが明文化したものである。

歯科技工士は、患者さん一人一人の笑顔を、「歯」からつくり出せる誇りある仕事である。これを体現できれば、歯科技工士としてこれに勝る喜びはないと思っ

ている。

